

【リデュース】(軽量化・薄肉化)

① 一本当たりの重量変化

2023 年実績は、基準年(2004 年)対比で 1 本当たりの加重平均重量は 2.4%の軽量化が図られた。

1 本当たりの単純平均重量は、基準年(2004 年)の 192.3g に対し、2023 年実績は 175.5g と 8.7% (16.8g/本)の軽量化が図られたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を緩和した加重平均の軽量化率は 2.4% (4.6g/本)の軽量化となった。【表1参照】

残りの 6.3% (12.2g/本)はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年(2004 年)対比での軽量化による資源節約量は、2006 年～2023 年の 18 年間で、353,916 トン(100ml ドリンク剤びん換算 33 億 5,465 万本)となった。

【表1】1本当たりの平均重量推移

	2004 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
	H16	H31	R2	R3	R4	R5
生産本数(千本)	7,262,950	5,721,682	5,234,580	5,392,241	5,192,766	5,206,292
生産重量(トン)	1,396,582	992,492	885,457	930,187	932,266	913,847
単純平均重量 (g/本)	192.3	173.5	169.2	172.5	179.5	175.5
単純平均 軽量化指標	100.0	90.2	88.0	89.7	93.3	91.3
加重平均 軽量化率指数	100.0	98.3	97.8	98.1	97.5	97.6
軽量化率 (加重平均)	—	▲1.7%	▲2.2%	▲1.9%	▲2.5%	▲2.4%
軽量化による累計 資源節約量(トン)	—	269、606	289,525	307,540	331,445	353,916

② 軽量化実績

2023 年に新たに軽量化された商品は、2 品種 2 品目であり、軽量化重量は 162 トンであった。

2006 年から 2023 年までに軽量化された商品は、11 品種 292 品目となった。【表2参照】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】2006 年から 2022 年までに軽量化された品目

品 種	のべ 品目数(292品目)
小びンドリンク	小びンドリンク(9 品目)
薬びん	細口(2 品目)、広口(2 品目)
食料びん	コーヒー(17 品目)、ジャム(14 品目)、粉末クリーム(2 品目)、蜂蜜(1 品目)、食用油(6 品目)、食品(8 品目)、のり(1 品目)
調味料びん	辛子(1 品目)、たれ(7 品目)、酢(13 品目)、ソース(2 品目)、新みりん(3 品目)、醤油(4 品目)、つゆ(10 品目)、調味料(18 品目)、ドレッシング(14 品目)、ケチャップ(1 品目)
牛乳びん	牛乳(5 品目)
清酒びん	清酒中小(42 品目)
ビールびん	ビール(14 品目)
ウイスキーびん	ウイスキー(5 品目)
焼酎びん	焼酎(24 品目)
その他洋雑酒びん	薬味酒(1品目)、ワイン(25 品目)、その他(16 品目)
飲料びん	飲料ドリンク(8 品目)、飲料水(2 品目)、炭酸(3 品目)、ジュース(6 品目)、ラムネ(2 品目)、シロップ(2 品目)、乳酸(1 品目)